

# 生物多様性保全の取組を関係省庁と連携して推進

生物多様性保全に関心の高い地域を訪問し、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を認定する「自然共生サイト」の活用について東北地方環境事務所とともに推進

## ○ 施策分類

環境

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

生物多様性に係る知見を深めるため、東北地方環境事務所に依頼し、自然共生サイトの仕組みなどの勉強会を開催。

ビジネス界において、自社の事業活動が自然環境に及ぼす影響や依存度に関する情報開示等を求める動きが加速しており、自然共生サイトに認定された区域で生産された農産物購入も生物多様性保全への支援に見なされることから、生物多様性の保全活動に積極的な団体との意見交換を環境事務所と企画。

## ○ 取組の内容

令和5年12月、環境事務所とともに、生物多様性の保全に関心の高い大崎市、伊豆沼農産（登米市）及びJAみやぎ登米を訪問し、自然共生サイトの活用の可能性などについて意見交換を実施。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

各団体とも自然共生サイトに興味を示しており、環境事務所は自然共生サイトの活用に向けた相談に対応するとともに、当拠点へ各団体の状況等について情報共有。

生物多様性保全の取組は、みやぎの環境保全米等の販売の強みになることから、各団体の動向を注視しつつ、他の地域でも環境事務所とともに自然共生サイトについて意見交換を行う予定。



意見交換の様子（大崎市）



大崎市の生き物モニタリング調査



伊豆沼農産の学習田



JAみやぎ登米の生き物調査

## 体制図

- ◇東北農政局管内各県担当地方参事官及び宮城県拠点職員を対象とした勉強会の開催
- ◇宮城県内の生物多様性保全の取組について情報共有

宮城県拠点

連携

東北地方  
環境事務所

県内各地への推進

大崎市

- ・水田の生き物モニタリング
- ・小中学生を対象とした環境教育

伊豆沼農産

- ・ふゆみずたんほの取組
- ・地元小学生の学習田
- ・生き物調査

JAみやぎ登米

- ・農薬や化学肥料を慣行栽培の半以下に抑えた環境保全米の取組